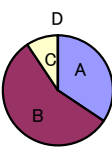
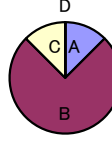
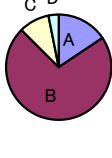
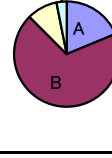
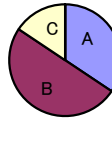
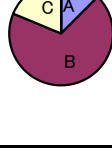
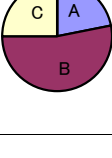
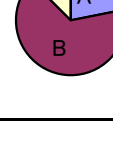


平成18年度 青雲高校 学校評価シート

領域	評価の観点	評価項目	実践目標と成果	自己評価	
開かれた学校づくり	家庭や地域の人々への情報発信	実践目標	青雲通信などの定期的な発行や学校HPの有効な活用を図り、学校・家庭・地域との連携を円滑に進める。		
		成果	青雲通信などの原稿の記入や学校HPのデータアップや内容更新などを手掛けた。定発を通じてできた。HPの頻繁な更新など、Web、紙を媒体に情報発信に努めた。現状は良好。学校HPの更新が早かった。		
		実践目標	学校行事や地域貢献事業などを通じて、家庭・地域との連携を深め、本校教育活動の理解と協力を得る。		
		成果	春の交流会や文化祭では写真撮影などで協力できた。文化祭を中心に出来た。現状は良好。クリーンアップ作戦・ボランティア等行われ、更なる連携が望まれる。		
	学校評議員制度等を活用した学校運営の推進	実践目標	学校評議員の全委員を一新し、新たな視点や観点から本校の教育活動に対する意見を聴取し、学校運営に反映させる。		
		成果	協力できた。評議員会の内容を職員の朝の打合せ等で周知する。学校運営や教員の学級運営の参考になる。(軽度発達障害等の対応)		
		実践目標	学校評議員に本校HPの閲覧及びスクーリングの参観をしていただき、それについての意見を聞き、情報発信方法や授業の改善に役立てる。		
		成果	スクーリング参加して頂きコンピュータへの参加などで協力できた。公開授業の試みは効果があった。		
生徒指導	生徒指導方針の確認と指導体制の推進	実践目標	安全な学校、より良い学校の創造を目指し、校門立番や校内巡視の徹底、関係機関との連携、校内全面禁煙の定着等を押進める。		
		成果	校門立ち番や校内巡視などで協力できた。スクーリング時に吸殻がなくなる。喫煙についてはまだまだ指導の余地あり。安全な学校、環境の整備は教員全体で取り組むべき。		
		実践目標	生徒の学校行事への積極的な関わりや参加数の増加のための方策を研究・工夫し、帰属意識の涵養を図る。		
		成果	工夫はしているが参加者の増加は少ない。動物園の遠足、映画村の遠足など、興味をひいた企画で参加者も増加した。定期発送等の機会を通じて試みがなされている。月に数回の自主的な学習会は効果的であった。文化祭、遠足等、改善が加えられよりよいものとなった。		
			実践目標	各学校行事の内容を工夫し、生徒が地域と関わり、貢献できる機会を増やす。	
			成果	校内全面禁煙の実施を生徒が理解していない。文化祭、クリーン作戦など生徒がよく参加していた。文化祭等で地域との関わりが持っていると。文化祭での取り組み(NPO法人との交流や協力)	
生徒の内面の理解を図		実践目標	キャンパスカウンセラーと教職員との交流(事例研修会)を設け、生徒理解の共通認識を深める。		
		成果	協力できた。全体の研修会や個別の生徒についての情報交換など、有意義な話し合いがもたれた。内容について少し検討を要するのでは。研修会はなされたが内容に課題が残る。研修は印象に残った。「アスペルガー」について考えさせられた。		

学校運営

エビデンス	る指導の工夫	実践目標	「相談室だより」や教育相談に関わる掲示物、学校HP等を通して、カウンセリング情報の広報に努める。	
		成果	少しPR不足のような気がします。「教育相談だより」は本年度発行されましたか。	
進路指導	進路指導体制の充実	実践目標	年度当初に年間計画を全職員・生徒に示し、各時期における必要事項の確認を随時行う。	
		成果	4月当初に進路指導に関する年間計画を全職員・生徒に配布し、計画的に進路指導や進路決定が出来るようにした。協力でき、現状でよい。	
	職業観・勤労観の育成と進路意識の向上	実践目標	進路指導部と全担任が協力して大学・短大・専修学校等の情報を収集し、ネットワーク上でその内容を共有する。	
		成果	情報収集・青雲高校の宣伝・指定校の獲得を目的に大学、短大、専門学校等の説明会に出席し、得られた情報をPC上で共有できた。看護系の資料など、担任が個別に探す必要があった。	
		実践目標	「仕事(アルバイト等)をする」ことを奨励し、「実際に仕事をする」ことを通して働くことの意味を考えさせ、正規就職へつなげる。	
		成果	毎月「進路のしおり」を発行しその中で、職業観を養うための記事を載せた。必要に応じて個々生徒に対応が出来る。「就業体験」の更なる拡充が望まれる。	
実践的指導力の向上	実践目標	フリーターが増加する昨今、HRや「進路のしおり」等の配布物、就職説明会等を通じて、正規就労の意味や大切さを十分に理解させる。		
	成果	各種説明会を通じて、正規就労の大切さを訴えた。現状で良好。毎月の進路のしおりにより、生徒に卒業後の進路考える動機付けができた。		
教職員の資質向上	実践的指導力の向上	実践目標	スクーリング時において、学校評議員による授業参観を実施する。また、生徒の状況把握も兼ねて、管理職を含む多数の教員が授業教室を適時巡回する。	
		成果	積極的に授業参観などをする。現在は良好。各種研修会が行われスキルアップにつながっている。	
教職員の資質向上	計画性を持った研修の実施	実践目標	当面する諸課題に対し、生徒指導・教務・教育相談・人権教育・情報図書等の各部署が全教員対象の研修会を企画し計画的に実施する。	
		成果	現状で良好。情報図書として毎月の研修、ミニ研修、ICT研修など50回程度の研修を企画実践をする。図書情報の研修は充実。様々な研修は教諭の知識となった。	
	計画性を持った研修の実施	実践目標	研究指定になっている「高校生心のサポートシステム」では、外部講師を招聘した講演会等を実施し、カウンセリングマインドのスキルアップを図る。	
		成果	いい研修が出来ている。	
危機管理体制の敷	実効ある学校マニュアルの策定	実践目標	本校の実情に応じた危機管理マニュアルを作成する。	
		成果	あまり協力できなかった。	

準備	家庭・地域・関係機関と連携した危機管理体制の推進	実践目標	「通信制高校に合った家庭・地域・関係機関との連携体制」を検討・工夫し、防犯に関する教職員の安全対応能力の向上を図るための取組みを行う。		
		成果	兵庫防犯ネットへの携帯メールの登録をする。		
教育課程	自ら学び自ら考える力の育成	実践目標	レポート・スクーリングの一環として、社会体育施設や公的機関を訪問し、その業務内容について報告するような教材を工夫・設定する。		
		成果	現状で良好。1部教科で取り入れられている。「ワークキャンプ」「就業体験」等、様々な機会を作るのは重要だが、それに生徒をどのように参加させるかが課題。		
		実践目標	県立神出学園と連携し、多様な体験課題を与え、その解決に当たらせる。		
		成果	生徒から神出学園の生活の様子などの話を聞きイキイキとした様子がうかがえる。学園での状況をもっと学校として把握して欲しい。		
	基礎・基本の定着	生徒の学力の把握と評価基準の設定	実践目標	各教科で評価基準を設定し、それに基づいた評価を行い、その正当性の検証を行う。	
			成果	レポートでヒントプリント作成時に評価のもととなったポイントをチェックシステムに取り組む。年度当初に教科会で検討しており良好に行われている。	
			実践目標	本校の実情に合わせた基礎学力の定着を目指した学校設定科目を設置し、上位科目の学習につなげる。	
			成果	英語、数学、公民に設定されており良好である。	
	総合的な学習の時間	教職員の協働体制の確立	実践目標	「総合的な学習の時間」についての委員会を定期的開催し、3年間を見据えた計画を立案し、実施する。	
			成果	目標通り実行されている。いろいろな角度からの研究は教科を超えた発見があり有意義だった。	
	総合的な学習の時間	教職員の協働体制の確立	実践目標	生徒の興味・関心や適性を的確に把握し、そのニーズに合った学習テーマを設定し、全教員が一致して取り組む。	
			成果	新教育システムで実験的に問題を作成する。ニーズに合った内容設定である。	
個に応じた学習指導の徹底	評価方法の創意工夫	実践目標	新しい評価方法について、全教員が研究し、各教科の評価について意見交換を行う。		
		成果	通信制教育の柱であるレポート、スクーリング、テストに各々どう反映させていくか。		
		実践目標	公開授業の実施等で授業の改善を目指し、本校生に合ったスクーリングのあり方を検討する。		
		成果	教育課程委員会の場で入念に検討し、後期3週連続で後悔授業週間を持った。また、授業評価の項目も決めた。プロジェクトの活用など、新しい機器の活用に取り組み始めた。実施はできたが検討はまだ不十分。		

課題教育	防災・安全教育	教員の防災教育に係る指導力・実践力の向上	実践目標	災害発生時に生徒が的確に判断でき、安全な初期行動がとれるように、防災管理組織と実際の任務についての確認を行う。	
			成果	スクーリング時の対応策を考える必要あり。HR単位では実行できていない。本年度は避難経路の説明・指示するHRをもたなかった。	
			実践目標	防災マニュアルの策定や交通安全に関する研修会の開催等により、自他の生命を尊重する意識を高め、より具体的事例をもとにしたHR指導が行えるようにする。	
			成果	交通安全に関するHRが実施できなかった。	
	人権教育	人権教育推進体制への取組	実践目標	長期的な視野に立ち、4年間を見据えた人権学習に取り組む。	
			成果	通信制という制約の中、良好である。	
			実践目標	多様な生徒が在籍する現状を踏まえ、各部と緊密な関係を取り、生徒の「個」に合わせた人権教育推進体制を構築する。	
			成果	通信制という制約の中良好である。「エイズ問題」の研修と授業は実りがあった。	
	新しい通信制教育	e-Learningの実施による新しい通信教育の実現	実践目標	本格的なe-Learningの実施に向けて、全教科でWebによる教材配信や新教育システムを使った電子レポートの実施等の取組みが行なえるようにする。	
			成果	「情報B」で本格実施。本年度10名程度の参加があった。全教科に取り組みを始めてもらうには至っていない。一部教科でようやくスタートする。スキルアップ研修を行っている。	
		e-Learningの実施に向けた教員の取組み	実践目標	e-Learningの実施に必要な教員のコンピュータリテラシーやセキュリティ、個人情報の保護等に対する意識の向上を図る。	
			成果	月例研修、週2回のミニ研修及びICTによる研修等を計画的に行い、スキルアップを図る。校外での研修に積極的に参加した。個人情報保護、セキュリティはうるさいと言われるぐらいには浸透した。研修会の開催で良好。自分自身が良く理解できていない。	